応仁・文明の乱を歩く

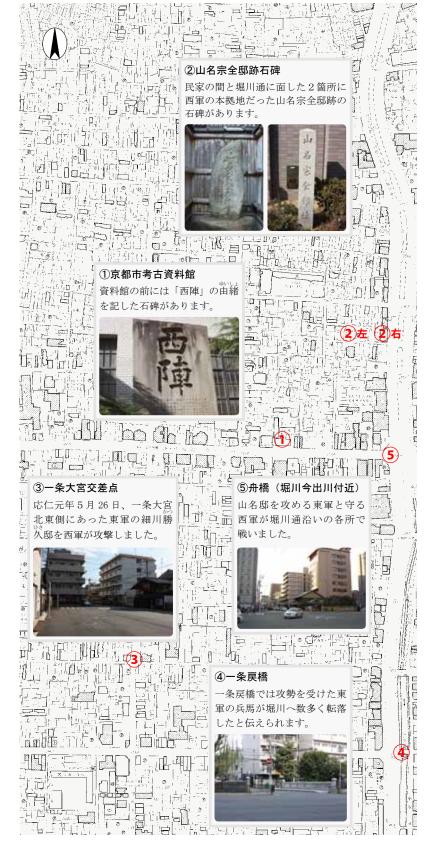
http://www.kyoto-arc.or.jp (公財) 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

戦国時代の幕開けとなる応仁・ 文明の乱は応仁元年(1467)に勃 発した11年間にわたる戦いです。

戦端は、1月18日、畠山政長の陣を畠山義就の軍勢が攻撃した上海霊社(御霊神社)の戦いにより開かれました。いったんは停戦が模索されますが、細川勝元を中心とする東軍と山名宗全(持豊)を中心とする西軍が、それぞれ味方の軍勢を京都に集め、5月には大規模な合戦となります。東軍の本拠地となった宝町殿と、西軍の本拠地となった山名宗全邸をはさんだ地域では、東西両軍が衝突し、激戦が繰り広げられました。

この段階では兵力にまさる東軍が優勢となりますが、8月に大軍を率いて上洛した大内政弘が西軍に合流すると形勢は逆転、10月には室町殿の包囲をうかがう西軍が、相国寺の占拠をかけて東軍と戦います。この戦いは両軍ともに甚大な被害を出す痛み分けとなり、立大な関係は、大規模な合戦が減って「小競り合いを繰り返しながらも、応仁2年後半頃から戦いは洛外をはじめ各地に拡大していきました。

京都市考古資料館は、「西軍の陣」 に因んだ西陣の地にあり、周囲に は応仁・文明の乱に関わる史跡や 遺跡が点在しています。現在の景 観に応仁・文明の乱の激戦を偲ん でみましょう。 (山本雅和)



小川に架かる百々橋は激戦地の

石が残されています。

一つです。江戸時代の石橋の礎

● ⑥百々橋跡

ÇÎ

0

1

いました。合戦のたびに作り



替えられたようです。



12

F∏ j⊞

JE

(3)上御霊社(御霊神社)

応仁元年10月3日、境内で 合戦が行われ、ほとんどの 建物が焼失しました。

ď

応仁・文明の乱の勃発地です。石碑 は境内西側の鳥居の横にあります。



⑨同志社大学寒梅館



戦国時代の建物の基礎が保存され ており、観察することができます。



8室町殿跡

地地となりました。庭園や敷地南端の堀 が見つかっています。



Г ⑩同志社大学良心館

建物ホールや東壁部で相 国寺の調査成果が展示・ 公開されています。

3j

1

16,0





②烏丸一条付近 一条通をはさんで東西両軍が対峙した大規模な堀が発掘調査で見つかっ

